

旧本陣 竹内五左衛門邸

この建物は、木之本宿の本陣、つまりこのエリアを通る大名など地位のある旅人をもてなす旅館であった。本陣は竹内家が所有していた。19 世紀中頃、竹内家は本陣の経営に加えて漢方薬の製造販売を始めた。明治時代（1868 年～1912 年）には、22 代目の当主である竹内五左衛門（生没年不詳）が薬剤師免許を取得した。現在、竹内家薬局は別の建物に移転しているが、創業約 170 年の家業は今も続いている。

右側： 京都へ、左側： 江戸へ

この石標は、かつてこの十字路にあった道標を再現したものである。北国街道は南西の京都方面へ、北国脇往還は西の江戸方面（現在の東京）へと続いていた。

イヌザクラの木

このイヌザクラの大木は、旅人が自身の足や馬のくつわを近くの小川で洗った休憩所の名残である。また、日本で最も強力な大名の一人である豊臣秀吉（1537-1598）が、自分の馬をここに埋めたという伝説がある。秀吉は墓標として鞭を土に刺し、そこからこのイヌザクラが芽吹いたとされている。